

最初の「開墾体験教室」は、こんなことを試みます



「境界なき土起こし団」の齊藤洋晃さん(能代市)と友人の佐々木友哉さん(藤里町)は8月8日、県道向かいに日本海の水平線を望む、現・耕作放棄地(将来・リゾート農園)の草刈りをしました。「使っていない土地だ、好きにしてい」という加茂青砂集落の住民の言葉に感謝して、です。1時間半ほどでおよそ600㎡を伐採しました。

切り倒されたクズ、イタドリなどの葉や茎をどうするのか。ここからが、二人が取り組む「自然農法」です。伐採したあと地の一画に穴を掘る。すでに枯れてしまった草木を入れる。そこに、米ぬか、さらには自然酵母「白神こだま酵母」を加えて混ぜ合わせる。

出来上がるのは堆肥です。

みなさん、すでにたくさんの質問を抱えていると思います。

一回目の教室は9月9日に開く予定です。一緒に学びたい人は、教室の学生名簿に、これから取り組みたいことなどの希望を添えて、お名前、住所、連絡先をお書きください。

「学資名簿」は門外不出とし、教室内の連絡以外には使いません。